

第 6 次草津市総合計画第 2 期基本計画（令和 7 年度～令和 1 0 年度）
施策評価・ベンチマーク・市民意識調査・
地域幸福度（Well-Being）指標アンケート調査の結果について

1. 施策評価について

- ・第 2 期基本計画の体系は、まちづくりの基本目標（5）、分野（2 3）、基本方針（5 3）の下に、施策（1 1 0）で構成されている。
- ・令和 7 年度においては、施策（1 1 0）の下に、7 7 9 の事務事業が紐づけられており、その内訳は、主要事業（2 9 7）、その他事業（4 8 2）となっている。
- ・主要事業の成果達成度については、別途総務部にて作成される主要な施策の成果と整合を図ることにより、総合計画と予算の連動を図っている。
- ・令和 7 年度における主要事業（2 9 7）の評価内訳は、次のとおり。

◎：0 事業、○：2 9 3 事業、△：4 事業

（参考）成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ達成度評価を実施している。

2. ベンチマークについて

- ・基本方針（5 3）のうち、2 0 項目が令和 7 年度目標値を達成、3 3 項目が未達成となっている。

※（ ）は項目数

3. 市民意識調査の結果について

第 2 期基本計画における、市の取組に対する市民意識を確認し、市政運営の参考とするために市民意識調査を実施しました。

調 査 対 象	市民 3, 0 0 0 人（令和 8 年 1 月 1 日時点における住民基本台帳の 1 8 歳以上の者から、年齢・居住地域の 2 段階による層化無作為抽出）
実 施 期 間	令和 8 年 2 月 2 日（月）から 2 月 2 4 日（火）まで
有 効 回 答 数（率）	9 9 0 人（3 3. 0 %） （内訳）郵 送：5 3 5 件（5 4. 0 %） インターネット：4 5 5 件（4 6. 0 %）

4. 「地域幸福度（Well-Being）指標」アンケート調査の結果について

第2期基本計画において、参考指標としている地域幸福度（Well-Being）指標を活用して、市民の皆様が感じている「暮らしやすさ」や「幸福感（Well-Being）」を可視化し、今後のまちづくりの参考にするために実施しました。

調 査 対 象	市民3,000人（令和7年11月1日時点における住民基本台帳の18歳以上の者から、年齢・居住地域の2段階による層化無作為抽出）
実 施 期 間	令和7年12月4日（木）から12月25日（木）まで
有 効 回 答 数 （ 率 ）	1,136人（37.9%） （内訳） 郵 送：578件（50.9%） インターネット：558件（49.1%）

5. スケジュール

- 7月29日（水） 第2回草津市総合計画策定推進委員会にて報告
※施策評価・ベンチマークの修正が必要な場合は、
8月3日（月）までに企画調整課に連絡のこと
- 8月20日（木） 正副議長説明・ポスティング
市ホームページでの公開